

其ノ為メ、勞働者ノ為メ、自己一家ノ為メト云フ精神ヲ以テ事
業經營ノ精神トシテ居ルハ、凡ソ人間ノ道ニシテ
最モ大切ナルハ善行テアル善行トハ己モヨク人モヨクシテ
アリ共存共榮デアル又換言セバ推讓報徳ノ道デアル
彼ノ巨額ノ富ヲ高閣ニ累積シテ以テ自ラ足レリトスル
其ノ富豪輩ハ己ヲ利スルコトヲ知ツテ他ノ榮ヲ知ラザル
モノ、又彼ノ「身ヲ殺シテ仁ヲ為ス」衣ノ道徳タル所詮
自己ノ存在ヲ忘レテ他ノ利ノミヲ追ハントスル非常時ノ
道徳ニシテ常住恒久ノモノタルヲ得ズ俱ニ共ニ我住友
家ノ採ルベキ態度ニ非サルノデアル、カルガ故ニ我住友
家が投資セル或ル事業部門ニ於テハ、明ラカニ損失
ヲ招キ或ハ辛クシテ僅少ノ利益ヲ得ルノミナルモノガ
アリ、時アツテ讒誣由傷セラレ、ニ不拍敢テニヲ放抛

セザルハ只々共存共榮ヲ希フ念アルニ過ギナイカラ
デアル。

以茲、鈴木前總理、中田現總理、久保前所長以來
今ニ至ル迄共存共榮ノ理想即チ其ノ為メ、勞働者ノ
為メ、自己一家ノ為ト云フ高キ理想ハ我住友家事業
經營ノ大綱ト定メラレ、確固トシテ動ク所ナイノデアル。
個人集ツテ社會國家ヲ組織スレドモ、社會國家ハ決
シテ一個人乃至一黨派ノ為メニ存在スルノデハナイ、萬人
各々其ノ利ニ走レバ大道廢シテ社會滅ビ、國家ニ對スル
責務ヲ盡サズバ、國家ニ對シテ社會滅ビ、國家ニ對スル
ニ吾人人類ノ價値アリヤ。

事業ニ於ケル亦社會國家ト同一デアル。
又既ニ富貴が事業ニ投資シタラバ、其ノ事業ハ最早